

平成16年度
(2004)

川上村の教育



KAWAKAMI

川上村教育委員会

山口県阿武郡川上村 4462 番地 1
(TEL 0838 - 54 - 2214)
(FAX 0838 - 54 - 2215)

萩市立萩図書館



110972817

70
4



目次

1. 川上村民憲章 (2)

2. 村の概要 (3) ~ (4)

3. 川上村教育委員会教育方針 (5) ~ (9)

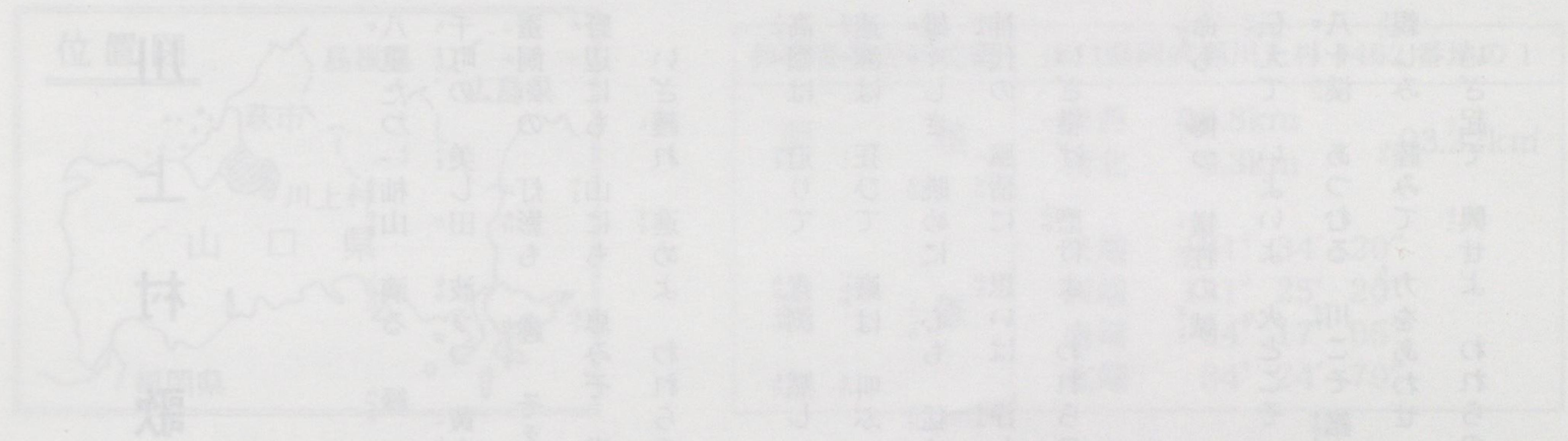
4. 教育委員会予算 (10)

5. 川上村教育委員会の機構 (11)

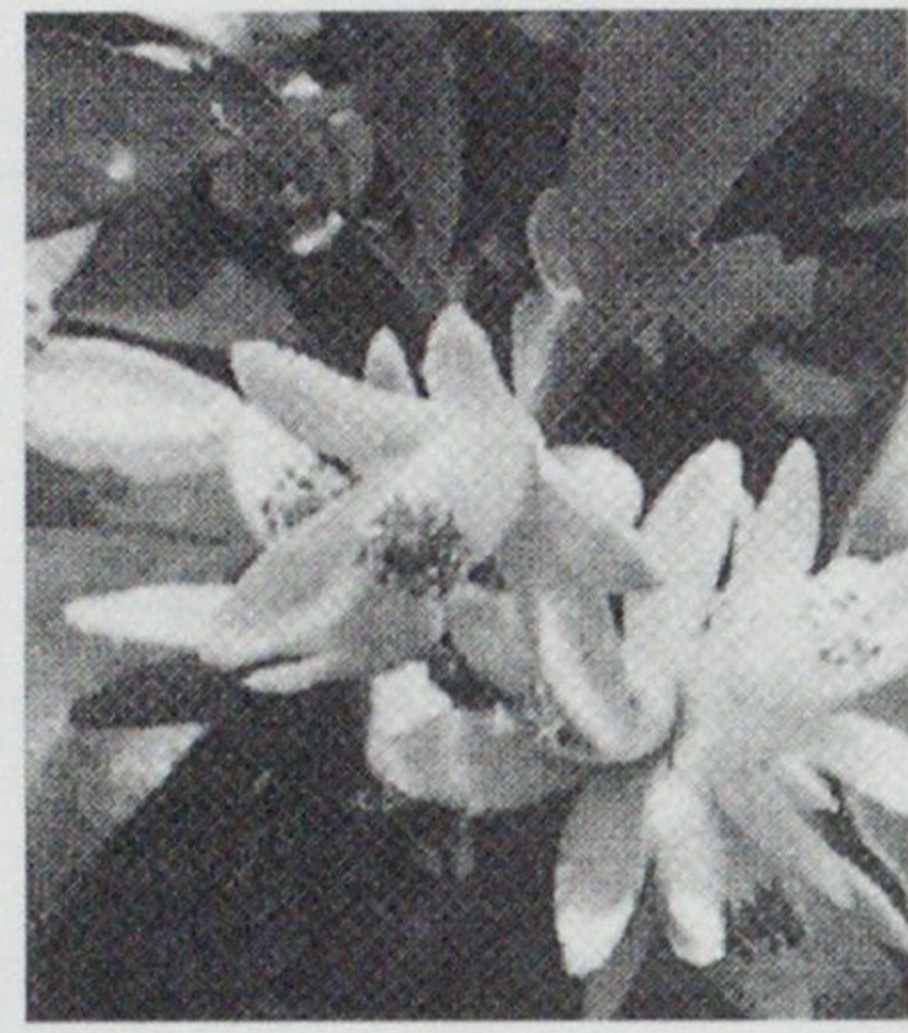
6. 学校教育
 小学校の概要 (12) ~ (15)
 中学校の概要 (16) ~ (21)

7. 川上村の文化財 (22) ~ (23)

8. 川上村教育関係施設 (24) ~ (26)



TRC102093



村花 - ユズ

ナンテンとともに昭和16年(1941)12月に天然記念物に指定されました。現在は村の特産として注目されており、そのかれんな花は村民に親しまれています。

昭和55年9月2日設定



村章

村名「川上村」を図案化したもので、山と川と湖(ダム)の美しい自然に恵まれた村をあらわします。円は団結を羽は三訓の誇り責任と希望、飛躍発展を意味します。

昭和42年3月15日制定



村木 - スギ

スギは、ヒノキ、アカマツと並んで、川上の林業のご三家として、古くから村の経済を支えて来たもので、村を象徴する木としてふさわしいものです。

昭和55年9月2日設定

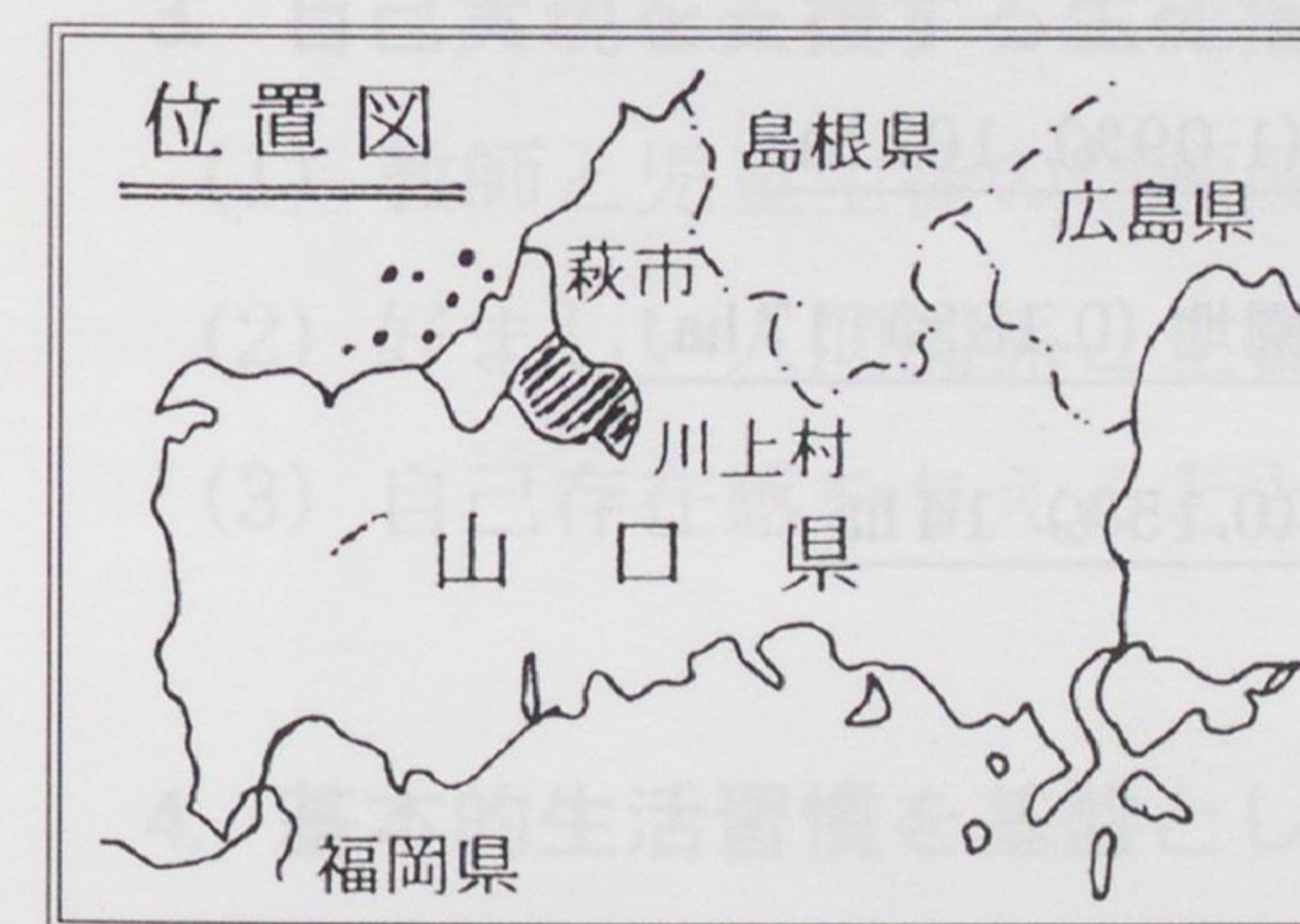
歌志

川上村の概要

本村は、山口県の北部に位置し、県庁所在地から北東約40km、萩市の中心地より南西約12kmの地点に位置し、東西16.6km南西9.3km総面積93.22km²、東は阿東町、西は萩市、南は旭村、北は福栄村と接し、標高15m~300mの地域で年間平均気温13℃~16℃、年間降雨量1,700mm~1,900mmで積雪量は20cm~50cmで積雪期間12月~3月までの4ヶ月間に達する積雪地帯である。位置は、阿武郡の最西北にあって、東に江舟ヶ岳(600m)西南に鯨ヶ岳(434m)北に碁盤ヶ岳(551m)さらに篠生山脈に連なり全村はほとんど連山に覆われている。阿東町に源流を発した阿武川が多くの支流を合流し、村の中心を東西につらぬき萩市をへて日本海に流れ込んでいる。阿武川とその支流の山間に15行政区が散在し、阿武川の中流には、名勝長門峡があり県立自然公園となっている。阿武川総合開発事業による県営としては日本有数の規模を誇る阿武川ダムがあり、かんがい・発電・洪水調節に役立っている。ダム下流にはアルカリ性単純温泉の阿武川温泉が平成5年4月にオープンした。年間約13万人もの利用客があり連日賑わっている。

地質は、流紋岩質岩石、古生層堆積岩、火山性岩石(安山岩、玄武岩)変成岩類等が広く分布し、又土壌は大部分が肥沃な褐色森林土壌で林野率87%阿武川林業圏の中心となっている。

川上村の名がはじめて見えるのは、元文5年(1740)のことであり、その後、明治4年(1871)の廃藩置県、同22年(1889)町村制施行と変革を経、平成元年(1989)には村制100周年事業を行い現在に至っている。村域、名称は250年も変わらない珍しい村である。



教育委員会の位置		山口県阿武郡川上村 4462番地の1	
面積	東西	16.8km	93.22km ²
	南北	9.3km	
位置	東端	131° 34' 20"	
	西端	131° 25' 20"	
	南端	34° 17' 05"	
	北端	34° 24' 70"	

川上村民憲章

わたくしたち川上村民は、先人の築いた郷土に誇りをもち、力を合わせて、美しい自然を守り、活力に満ちた住みよい村を目指して、この憲章を定めます。

一、恵まれた自然を愛し

環境を整え

住みよい村をつくります

二、健康で勤労を尊び

活力に満ちた

豊かな村を育てます

三、生涯を通じて学び合い

文化を高め

伸びゆく村を築きます

平成元年五月一日制定

川上村歌

一、八重たつ 柚山 滴る 緑
千町の 美し田 波うつ 黄金
蚕飼いの 灯影も 趣 そえて
野辺にも 山にも 恵みぞ 満つる
いざ 護れ 進めよ われらのなりはひ

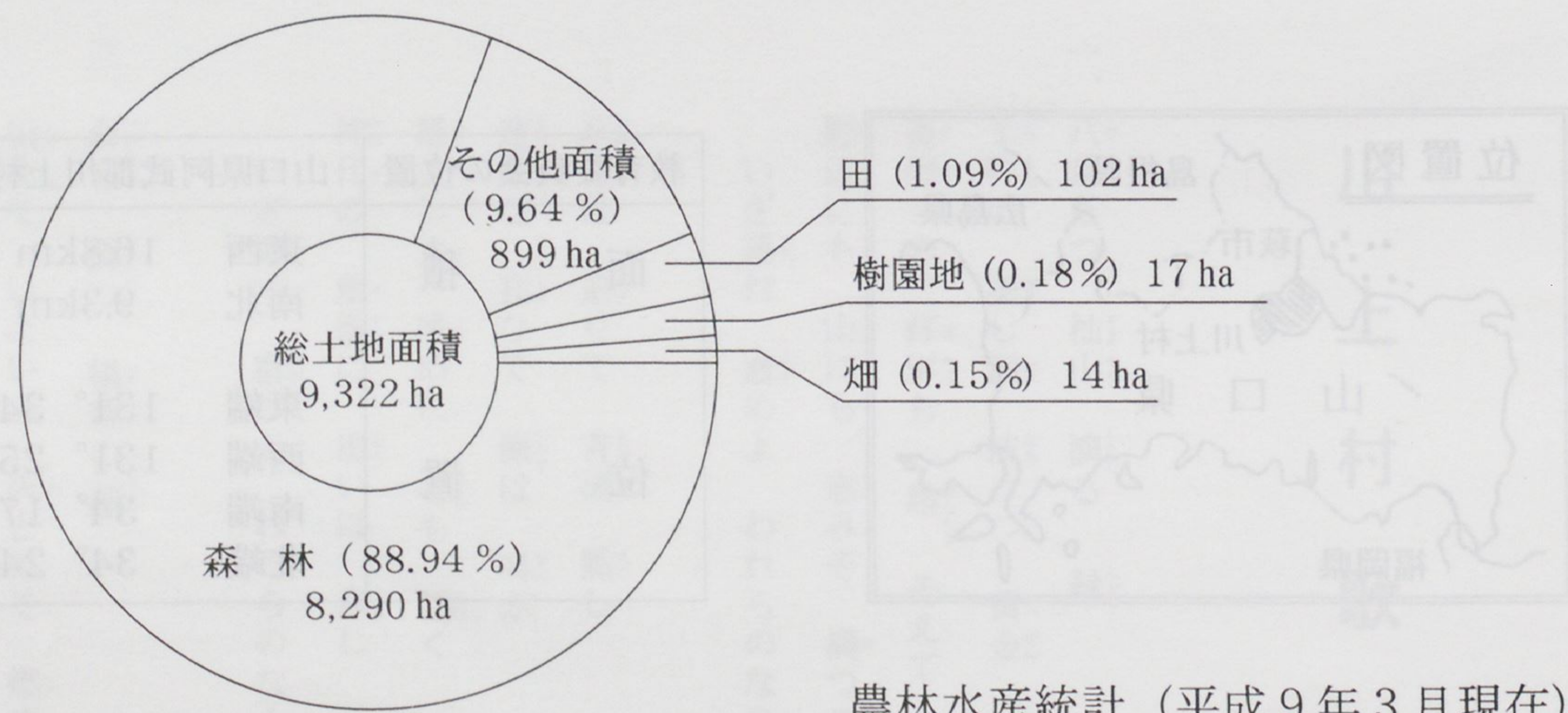
二、高嶺は 迫りて 青淵 黙し
速瀬は 狂ひて 巖は 叫ぶ
雄々しき 眺めに 心も 猛く
神代の 風情に 思いは 淨し
いざ 継げ 磨けよ われらのならひを

三、命も 擲つ 犠牲の誠
伝えて いよいよ 火とこそ 燃ゆれ
八十溪 あつむる 川こそ 鑑
親しみ 睦みて 力をあわせ
いざ 起て 興せよ われらの川上

川上村 図



土地利用状況 (地目別面積)



農林水産統計 (平成9年3月現在)

《社会教育・平成16年度 川上村教育基本方針》

「村づくりは人づくりから」を基本理念に、郷土を愛する心を基調として、生きる力を育む教育を推進するとともに、心の豊かさと生きがいを基調とした社会教育・生涯学習・スポーツ・文化活動の振興を図り、「みんなで築く心豊かな村づくり」を指向する。

《学校教育基本方針》

人間形成に係る基礎基本の確実な定着を図り、個性的で創造力に富む心豊かでたくましい児童・生徒を育成するため、学校・家庭・地域社会の連携による開かれた学校教育を推進する。

「重点目標」

1. 子どもが輝く開かれた学校づくり

- (1) 子どもや地域が誇りとする学校づくり
- (2) 基礎基本の徹底と調和のある育成の展開
- (3) 新教育課程の実践と研究

2. 基礎的・基本的学力の定着と個性を生かす学習指導の展開

- (1) 基礎学力の徹底と創造力の育成を重視した学習指導の展開
- (2) 自ら学ぶ意欲と個に対応した指導の工夫
- (3) 体験的な学習・問題解決学習の重視

3. 自己実現を支援する生徒指導の充実

- (1) 教師と児童生徒の信頼関係に基づく生徒指導の充実
- (2) 好ましい人間関係と生徒理解を深める教育相談の充実
- (3) 自己存在感を与えると同時に、自己指導力の育成

4. 基本的生活習慣を基盤とした健康安全教育の推進

- (1) 自主的・自発的に心身の健康と体力の向上に取り組む児童・生徒の育成
- (2) 実践的・体験的な活動を重視した健康安全教育の推進
- (3) 食に関する指導の充実と、安全で魅力ある学校給食の推進

5. 社会の進展に対応した教育の推進

- (1) 情報機器を活用した教育の推進
- (2) 児童・生徒の発達段階に応じた国際理解教育の推進
- (3) 環境教育及び福祉教育の推進

6. 学・社の連携・融合による教育の推進

- (1) 学校・家庭の連携による開かれた学校教育の推進
- (2) 各組織・団体等との連携の強化
- (3) ふるさと学習の積極的な推進

7. 教職員の研修の充実

- (1) 実践的研究の深化・充実
- (2) 学校と行政の連携による調和のある研修の充実
- (3) 情報教育施設の積極的活用による研修の充実



《社会教育・生涯学習基本方針》

住民の学習ニーズに対応することを基本とし、時代に対応した学習環境づくりを進め、積極的な学習活動の展開を図るとともに、学習成果を通して地域の活性化を図る。

「重点目標」

1. 多様な学習活動に対応した生涯学習の推進

- (1) 学習活動の促進と学習成果の活用
- (2) 学習施設の設備の整備充実
- (3) 学習に関する情報の積極的活用

2. 自立と共生をめざす社会教育の推進

- (1) 地域の教育力の活用による児童・生徒の体験活動の促進
- (2) 学校と地域の連携による教育活動の促進
- (3) 指導者の研修の促進

3. 楽しさと喜びのある生涯スポーツの推進

- (1) 村の活力につながるスポーツ活動の促進
- (2) 地域住民が主体となるスポーツ活動の促進
- (3) 指導者の育成と推進体制の充実

4. 個性豊かな地域文化の創造と継承

- (1) 文化財の発掘と保存
- (2) 地域文化の継承と保存
- (3) 文化活動の奨励



人権教育基本方針

日本国憲法及び教育基本法の本質にのっとり、一人ひとりがかげがえのない尊い命の主体者であるという人間尊重を基本的な考え方として、村民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、総合的に人権に関する取り組みを推進する。

《学校における人権教育の推進》

子どもの発達段階に即し、学校の教育活動全体を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を組織的計画的に推進する。

1. 推進体制の確立

- (1) 学校全体の共通理解による推進体制の確立
- (2) 家庭、関係機関との確かな連携

2. 目標及び計画等の設定

- (1) 学校や地域の実情を踏まえた目標の設定
- (2) 発達段階に即した学年別目標等の明確化

3. 人権尊重の視点に立った指導及び実践化につながる指導の充実

- (1) 各教材等の特質やねらいを踏まえて一人ひとりを大切に授業の展開
- (2) 社会教育との連携を図り、社会体験活動の機会の拡充

《地域社会における人権教育の推進》

人権意識の高揚をめざし、地域の各機関や団体などとの連携を図りながら学習機会の充実に努める。

1. 推進体制等の整備充実

- (1) 地域社会全体で取組む推進体制の確立
- (2) 家庭教育への支援の充実

2. 指導者の養成と学習機会の充実

- (1) 人権教育推進委員会の活性化
- (2) 多様な学習機会の確保



平成16年度社会教育月別行事予定表

川上村教育委員会

月	家庭教育学級	婦人学級	長寿学級	スポーツ教室	スポーツ行事(大会)	児童・生徒の体験教室
4	絵本の読み聞かせ(23日)	合同学級 村政について・ゴミの分別について(28日)			村近郷ソフトテニス大会(中学生) 職域ソフトバレー大会(28日)	
5		ガーデニング(未定)		ソフトボール審判講習会(18日)	ファミリースポーツの祭典(23日)	茶道・華道教室(29日)
6			岩国市の文化・歴史 視察研修(未定)		村近郷ソフトテニス大会(一般) 親睦バドミントン大会(10日)	料理教室(5日)
7	水遊びおもちゃ作り(20日)	合同学級 食の安全を見つめ直す	(未定)	カヌー教室(10・17日)	村民スポーツ大会(4日) 阿武川に親しむカヌー大会(25日)	料理教室(3日) 茶道・華道教室(10日) 茶道・華道教室(17日)
8					親睦バウンドテニス大会(19日) 職域ソフトボール大会(25日)	草木染教室(28日)
9		県内視察研修(未定)			ふれあいグラウンドゴルフ大会(26日)	料理教室(4日) 茶道・華道教室(18日)
10	魚を使った調理実習(未定)	魚を使った調理実習(未定)	蕎麦打ち(未定)		歩こう大会(3日) 村民ぐるみ大運動会(17日)	料理教室(2日) 草木染教室(23日)
11					村近郷ソフトテニス大会(一般)(14日)	
12	お父さんの調理実習(11日)	絵紙作り講習(未定)	正月飾り講習(未定)			料理教室(4日) 茶道・華道教室(25日)
1					走ろう大会(9日)	茶道・華道教室(15日) 料理教室(29日)
2		合同学級 グラウンドゴルフ(未定)	(未定)		親睦インディアカ大会(11日)	
3					親睦ソフトテニス大会(一般)(6日) 親睦ソフトバレー大会(23日)	料理教室(5日) 茶道・華道教室(19日)
備考						囲碁教室は毎月第2・4日曜日の10時から12時まで

平成 16 年度川上村教育委員会予算

(単位：千円)

区 分	平成 15 年度予算	平成 16 年度予算	対 比		
一 般 会 計	1,682,967	1,656,331	△ 1.6%		
教 育 費	138,295	159,916	15.6%		
構 成 比	8.2%	9.7%			
教 育 費 合 計	15 年度	16 年度	増 減	比 率	
	138,295	159,916	21,621	15.6%	
1. 教育総務費	教育委員会費	40,914	39,951	△ 963	△ 2.4
	計	40,914	39,951	△ 963	△ 2.4
2. 小学校費	学校管理費	13,622	25,590	11,968	87.9
	教育振興費	2,452	2,558	106	4.3
	計	16,074	28,148	12,074	75.1
3. 中学校費	学校管理費	11,562	23,426	11,864	202.6
	教育振興費	3,120	3,336	216	6.9
	計	14,682	26,762	12,080	82.3
4. 社会教育費	社会教育総務費	20,321	23,953	3,632	17.8
	資料館費	2,868	7,556	4,688	263.5
	計	23,189	31,509	8,320	35.9
5. 保健体育費	保健体育総務費	5,356	5,062	△ 294	△ 5.8
	体育施設管理費	18,275	7,282	△ 10,993	△ 251.0
	給食センター費	19,805	21,204	1,399	7.1
	計	43,436	33,548	△ 9,888	△ 29.5

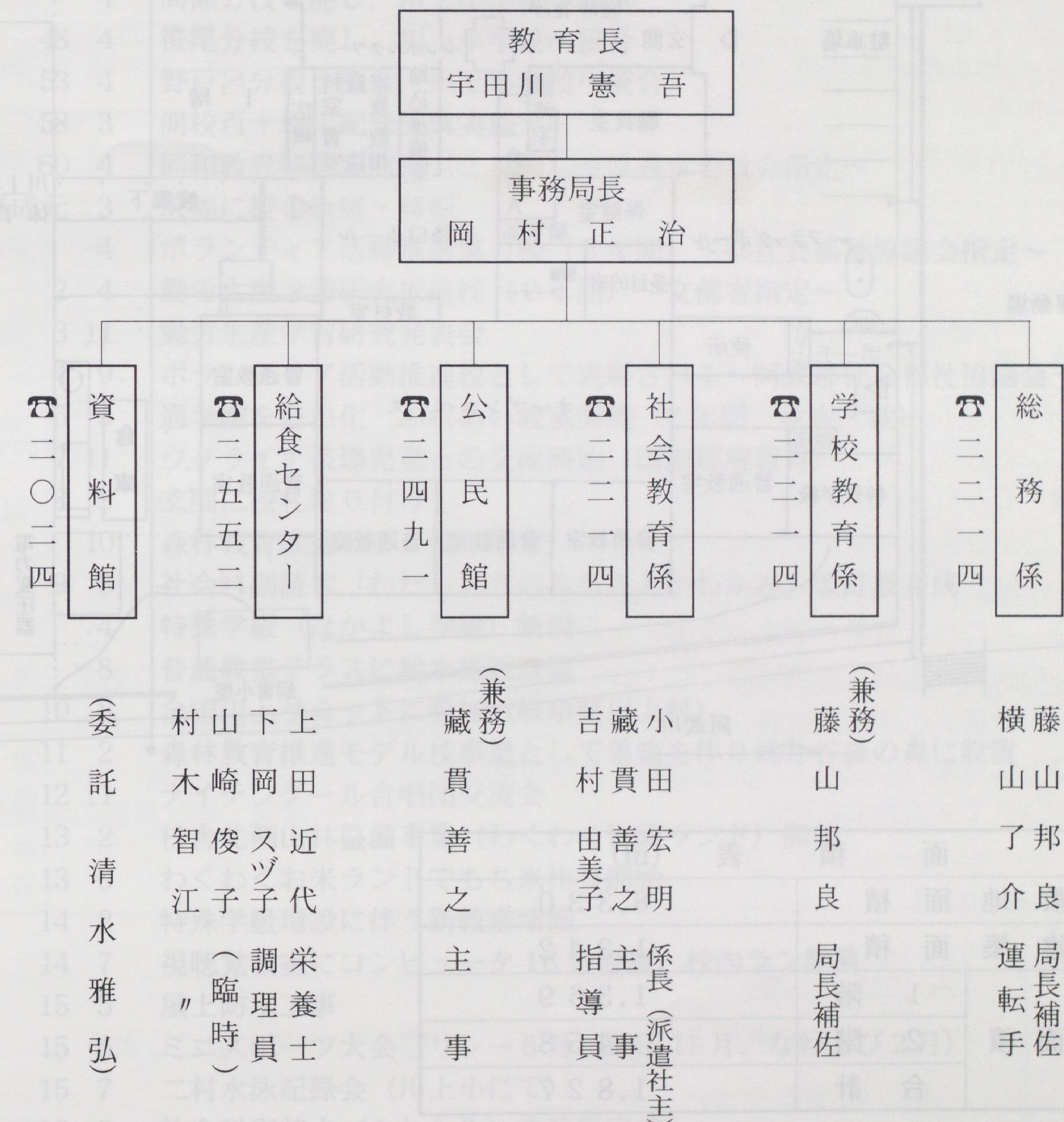
川上村教育委員会職員構成

平成 16 年 4 月 1 日

教育委員長
能美明彦
委員長職務代理者
岡崎圭之助
委員
宇田川憲吾

教育委員会所管各種委員会等

- 社会教育委員会 議
- 公民館運営審議会
- 体育指導委員会
- 文化財保護審議会
- 学校給食センター
運営委員会
- 心身障害児
就学指導委員会
- 同和教育推進委員会





校章

阿武郡川上村立川上小学校

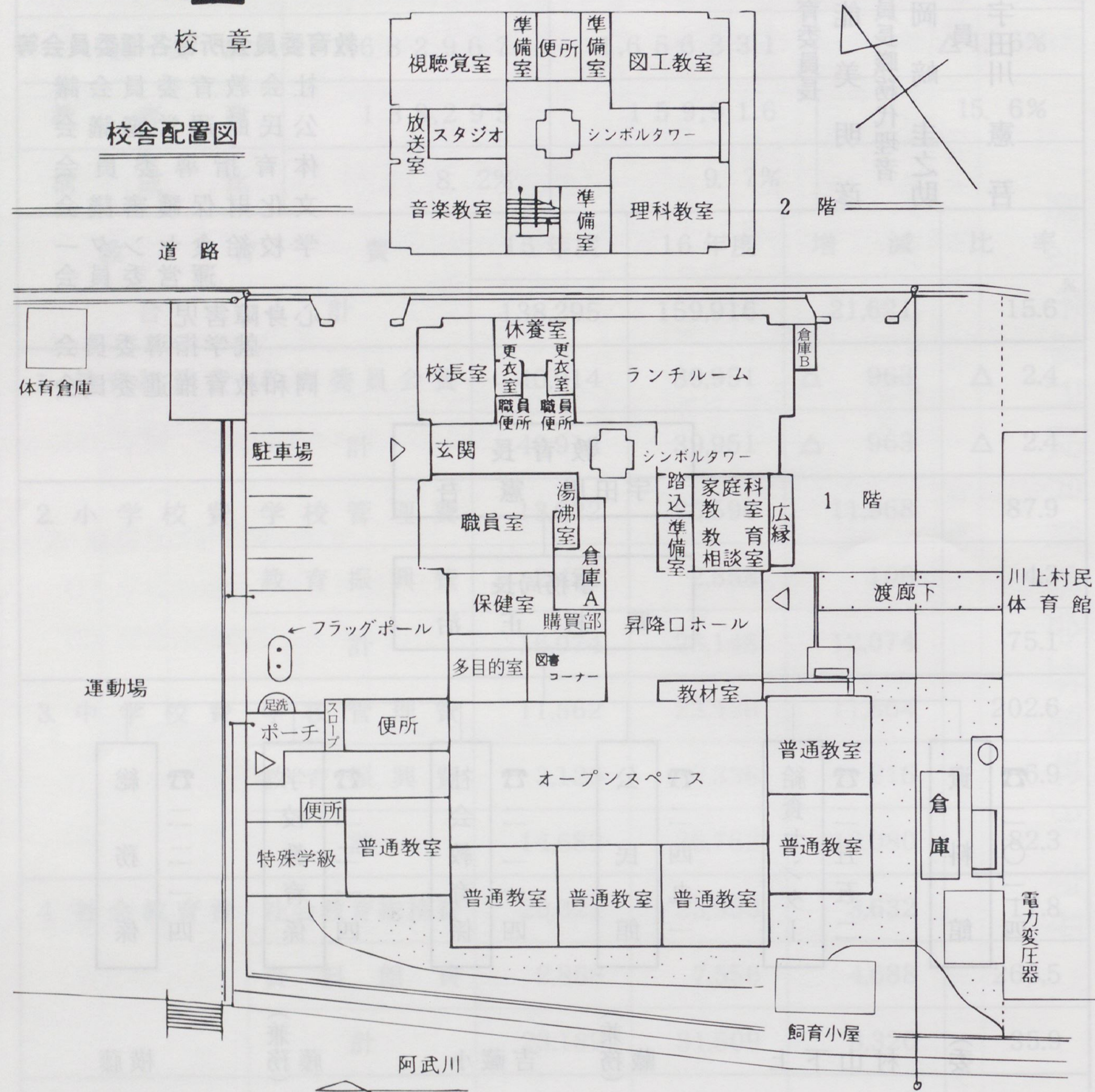
〒758-0122 阿武郡川上村4462-12

TEL 0838-54-2006

FAX 0838-54-2868

交通 山陰線 萩駅より9.5km

校舎配置図



面積表 (㎡)		
敷地面積		8,330
建築面積		1,342
床面積	1階	1,369
	2階	458
	合計	1,827

1. 学校沿革の概要

- 明治 6 3 川上小学の名で高瀬に創立
- 13 4 筏場に移転し、川上小学校と改称
- 20 4 川上尋常小学校と改称
- 25 11 川上村立川上尋常小学校を設置
- 33 6 川上尋常高等小学校と改称
- 昭和16 4 川上国民学校と改称
- 7 川上中央国民学校と改称
- 22 4 川上中央小学校と改称 (6・3制)
- 28 4 川上小学校と改称
- 32 10 校舎改築
- 36 3 校歌・校章制定
- 45 4 高瀬小学校を川上小学校高瀬分校と改称
- 5 トランペット鼓笛隊編成
- 46 3 立野小学校を廃し、川上小学校へ統合
- 4 高瀬分校を廃し、川上小学校へ統合
- 48 4 笹尾分校を廃し、川上小学校へ統合
- 53 4 野戸呂分校を廃し、川上小学校へ統合
- 58 3 開校百十周年記念式典実施
- 60 4 同和教育研究協力校 (2年間) ~県教育委員会指定~
- 平成元 3 灰福に校舎新築・移転
- 4 ボランティア活動推進協力校 (3年間) ~県社会福祉協議会指定~
- 2 4 勤労生産学習研究推進校 (2年間) ~文部省指定~
- 3 11 勤労生産学習研究発表会
- 4 9 ボランティア活動推進校として表彰される~阿武郡社会福祉協議会~
- 6 9 通学帽を自由化 ふれあい教室実施 (2年間 秋吉・萩)
- 7 11 ウクライナ被爆児童との交流開始 (国際理解教育)
- 8 3 玄関に校札取り付け
- 10 森林教育推進モデル校の指定
- 9 3 社会科副読本「わたしたちのふるさとかわかみ」改訂版完成
- 4 特殊学級 (なかよし学級) 新設
- 8 普通教室テラスに給水施設設置
- 10 8 全国川上サミットに参加 (岐阜県川上村)
- 11 2 森林教育推進モデル校事業として巣箱を作り武井谷緑の森に設置
- 12 11 ナイチンゲール合唱団交流会
- 13 2 校舎北側山林整備事業 (わくわく冒険ランド) 開始
- 13 6 わくわくお米ランドでもち米作り開始
- 14 2 特殊学級増設に伴う新教室増築
- 14 7 視聴覚教室にコンピュータ16台設置、校内ラン整備
- 15 5 屋上防水工事
- 15 6 ミニスポーツ大会 (リレー6月、駅伝11月、なわとび2月)
- 15 7 二村水泳記録会 (川上小にて)
- 16 3 社会科副読本 (かわかみ) 改訂版完成

2. 教育計画

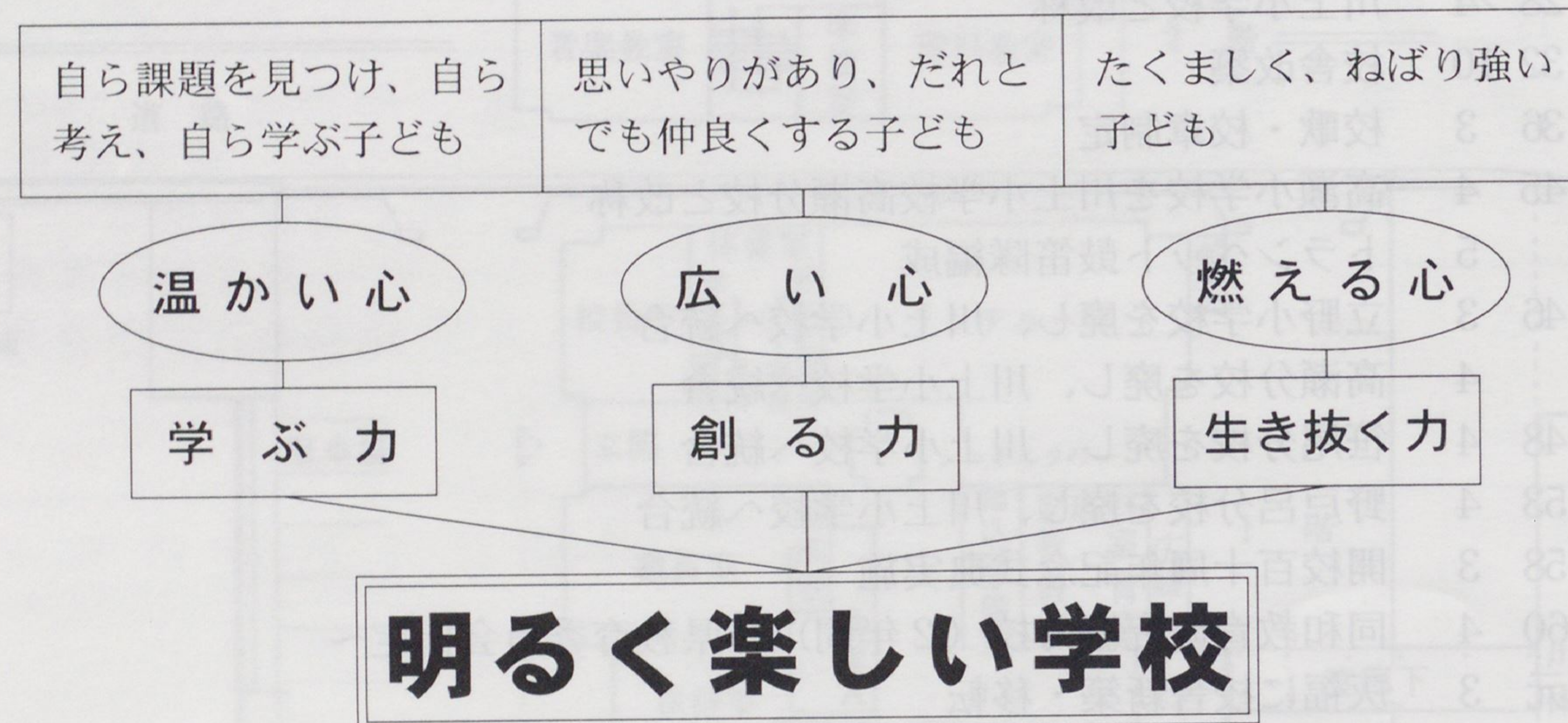
(1) 教育目標

郷土に誇りを持ち、心豊かに主体的に生きる、
心身ともにたくましい児童を育成する。

(2) めざす子ども像

知 学び合う子ども **徳** 助け合う子ども **体** 元気な子ども

(バランスの取れた児童の育成)



(3) 経営方針

- ◎ 楽しい授業(分かる授業)の創造
 - 問題解決的学習の重視
 - 活動・自然・社会体験の重視
 - 基礎的・基本的内容の重視
 - 計画・実践・評価による指導の重視
- ◎ 心ふれ合う生徒指導の実践
 - 全校指導体制による重点指導項目の徹底
 - 教育相談の充実
 - 健康安全教育の充実
- ◎ 心のなごむ教育環境の整備
 - 自然を生かした環境づくり
 - 教育経営・校内掲示の創意工夫
 - 清掃美化活動の徹底
 - 施設・設備の効果的な活用
- ◎ 広い視野に立ったPTA活動・地域活動の実践
 - PTA活動の活発化
 - ふれあい活動・奉仕活動の活発化

(4) 具体目標

生活目標

- ◎ 明るいあいさつをしよう！
- ◎ ものを大切にしよう！
- ◎ 時間を大切にしよう！

3. 在籍児童数 (5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	なかよし1	計
男	4	6	5	6	7	4	2	34
女	6	5	5	3	9	7	0	35
計	10	11	10	9	16	11	2	69

4. 教職員組織表

職名	氏名	本校在職	担任	校務分掌	住所
校長	津田章	3年	／＼	総括	萩市大字江向389
教頭	上野智恵子	1年	／＼	総務	長門市仙崎211-6
教諭	飛垣則子	3年	1年	視聴覚	萩市大字椿2150-1
教諭	中野朗代	2年	2年	環境整備	萩市椿東2981-6パールハウス101
教諭	白石トヨ子	2年	3年	生徒指導	萩市椿東5697-3
教諭	上田謙二	3年	4年	教務	吉敷郡小郡町黄金町16-5
教諭	戸倉保江	1年	5年	特別活動	萩市河添の1
教諭	富士本武明	4年	6年	保健体育	山口市宮野下青葉台3189-6
教諭	福井耕平	3年	なかよし	研修	山口市大内矢田423-5
養護教諭	高屋京子	2年	／＼	保健体育	萩市土原133-3
事務主任	原田定枝	1年	／＼	事務	萩市南古萩47

阿武郡川上村立 川上中学校

〒758-0122 阿武郡川上村4581

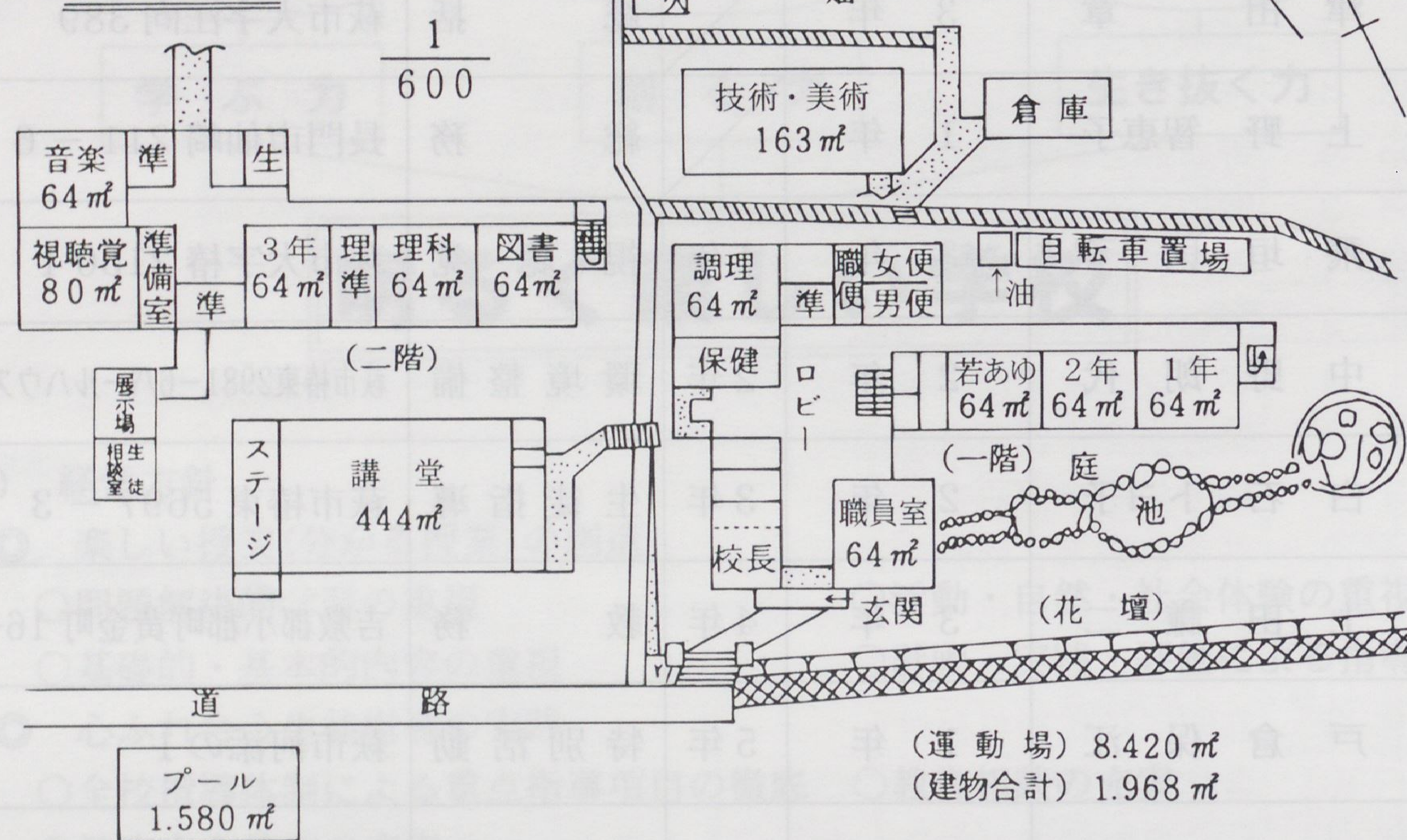
TEL 0838-54-2008
FAX 0838-54-2866

交通 山陰線 萩駅より9.5km



校章

校舎配置図



(運動場) 8.420㎡
(建物合計) 1.968㎡

プール
1.580㎡

2. 教育計画

「ゆとり」の中で「生きる力」を育てる

1. 学校の沿革

- 昭和22. 4. 1 川上村立川上中学校と称し、養蚕館を仮校舎として開校
同日 野戸呂分校、高瀬分室を設置
- 25. 7. 13 新校舎落成
- 33. 3. 28 大原学校林植祭
- 4. 25 体育館落成 (総工費 7,450,400 円)
- 38. 4. 1 高瀬分室を廃し、高瀬分校を設置
- 40. 4. 1 野戸呂分校を廃し、野戸呂中学校として独立する
- 46. 3. 25 高瀬分校廃校となる
- 46. 12. 27 第23回山口県学校造林コンクール第1位入賞
- 47. 5. 21 全日本学校造林コンクール準特選入賞
- 7. 12 豪雨のためプール落成前日損壊、運動場流失等大被害を受く
- 49. 3. 28 運動場修復完成 (実面積 8,651㎡)
- 7. 17 川上中学校プール完成 (総工費 2,396 万円)
- 51. 7. 14 校舎改築落成式 (総工費 15,512 万円)
- 53. 3. 15 中学校創立 30 周年記念造園完成
- 3. 25 川上村立野戸呂中学校を廃し、本校に編入する
- 10. 27 山口県花いっぱい運動県知事賞受賞
- 11. 6 清掃美化優良団体賞萩保健所長賞受賞
- 12. 1 川上村「緑の少年隊」結成
- 54. 4. 24 山口県学校環境美化コンクール入賞
- 10. 1 全国花いっぱいコンクール優良賞受賞
- 10. 26 山口県花いっぱい運動教育長賞受賞
- 55. 2. 21 庭園記念碑並びに石庭造築工事完成
- 10. 28 山口県花いっぱい運動県知事賞受賞
- 56. 11. 6 山口県花いっぱい運動教育長賞受賞
- 11. 19 木原営林大和財団より学校造林優秀校として表彰を受ける
- 57. 6. 1 山口県米飯給食対策協議会研究指定校となる
- 10. 23 山口県学校給食優良校として教育長賞受賞
- 10. 28 山口県花いっぱい運動県知事賞受賞
- 58. 10. 31 山口県花いっぱい運動モデル団体の指定を受ける
(以後平成 15 年度まで 22 回連続指定中)
- 59. 11. 9 全国花いっぱい運動優良校として表彰を受ける
(以後平成 5 年度まで連続 10 回表彰される)
- 60. 1. 26 小さな親切運動の学校表彰を受ける
- 平成 6. 2. 21 長門峡清掃活動に対して生徒会が県教育委員会教育長表彰を受賞

- 平成 7. 3. 10 文部省指定道徳教育推進校、研究のまとめ紙上発表
- 11. 30 山口県学校美術展学校賞「優秀賞」受賞
- 8. 4. 8 山口県学校給食改善研究指定を受ける（1年間）
- 9. 25 川上中学校開校 50 周年記念事業実施委員会発足
- 9. 5. 4 川上中学校開校 50 周年記念式典・祝賀会挙行
- 〃 川上中学校同窓会発足
- 10. 16 全国学校給食文部大臣賞受賞
- 11. 5 全国花いっぱい運動優良校として表彰を受ける
（平成 10 年度と 2 年連続）
- 11. 4. 1 「チャレンジ体験学習先行モデル校」県研究指定を受ける（11・12年度）
- 12. 10. 31 「チャレンジ体験学習」実施
- 〃 11. 2 「チャレンジ体験学習」発表会
- 11. 26 「チャレンジ体験学習」発表会
- 13. 5. 20 春季県体女子剣道部団体優勝
- 5. 29 パソコン 26 台設置
- 8. 10 「きらら博川上の日」生徒・教職員参加（阿知須町）
- 8. 30 講堂緞帳・中幕新設
- 14. 2. 7 村内専用電話設置
- 2. 9 第 42 回山口県児童生徒版画展学校賞「優良校」受賞
- 8. 5 職員室、保健室、1 階教室、廊下天井壁面塗装
- 15. 3. 31 若あゆ学級（特別支援学級）、3 年教室、美術・技術科室完成
- 4. 8 若あゆ学級（特別支援学級）開設
- 7. 8 職場体験学習（2・3 年生、村内）
- 8. 25 2 階廊下、床、1 階ロビー塗装張り替え

2. 教育計画 「ゆとり」の中で「生きる力」を育てる

本校教育の基本構想



3. 教職員校務分掌等

(1) 教職員一覧表

職名	氏名	年齢	在職	校務分掌	住所
校長	鈴木 積	54	1	校長事務	萩市上野2区
教頭	山田 みのる	54	2	総務	萩市中小畑の4
教諭	杉 洋一	52	2	特別支援教育・環境	萩市川島3区
教諭	長岡 由紀恵	51	5	特別活動	萩市江向2区1
教諭	正司 修	45	7	教務・体育	萩市椿 3746-6
教諭	岸田 安邦	42	4	進路指導・図書	萩市川島1区2
教諭	有田 尚司	42	3	研修・人権教育	萩市大字椿 2479-9
教諭	刀禰 英郎	41	5	生徒指導・交通安全	萩市土原 608-182
教諭	栗木 みのり	35	3	道徳・給食	旭村明木 2548
非講	白木 美智子	27	1		萩市大字椿 2418-1
養教	板垣 光子	47	1	保健・給食	萩市堀内 375-6
学栄	上田 近代	30	8	給食(育休)	萩市大字椿 2467-2
学栄	鋤田 恵子	37	2	給食(育休代替)	萩市大字椿 2656-3-101
事主	鶴崎 節子	46	2	事務	萩市川島2区-2

(2) 学級担任

学年	担任	副担任
1年	岸田	有田
2年	刀禰	長岡
3年	栗木	正司
若あゆ	杉	長岡

(3) 部活動担当

部活名	生徒数	顧問
ソフトテニス男子	16	有田・岸田・栗木・杉
ソフトテニス女子	9	正司・刀禰・長岡
陸上	随時	有田・正司

(4) 教科研究組織

教科等	担当者
国語	岸田
社会	有田
数学	栗木
理科	刀禰
音楽	杉
美術	山田
保健体育	正司
技術	山田
家庭	白木
英語	長岡

教科等	担当者
道徳	栗木
特別活動	長岡
図書館	岸田
視聴覚	刀禰
生徒指導	刀禰
人権教育	有田
進路指導	岸田
教務	正司
養護	板垣
体育	正司

4. 生徒の状況

(1) 生徒の実態

	男	女	計
1年	4	7	11
2年	7	0	7
3年	5	2	7
計	16	9	25

(2) 通学方法

	スクールバス	自転車	徒歩	計
1年	0	7	4	11
2年	0	7	0	7
3年	0	3	4	7
計	0	17	8	25

(3) 生徒の実態

本校は各学年一学級で、農山村特有の小規模校である。小学校、中学校ともに一村一校という実態から、保育園入園以来中学校卒業までほぼ同一メンバーで構成されている。そうした状況から、縦割り班活動などを取り入れ、学校諸活動の活性化を図るとともにリーダーの育成に努めている。

生徒は、明るく素直で、友人同志の思いやりもあり、勤労性に富んでいる。また地域に密着し、伝統を守り、地域社会の行事にもよく参加している。さらに生徒の表現力を豊かにするため、学校行事や生徒会活動のあらゆる機会を通して主体性や協力性を伸ばす活動に積極的に取り組んでいる。

川上村の文化財

川上村の指定文化財一覧表

種別	名	称	所在
国指定	勝長門峡	川上村・阿東町	
〃	天然記念物	ユズ及びナンテン自生地	遠谷
県指定	彫刻	毘沙門天立像	灰福（玉泉寺）
村指定	彫刻	毘沙門天立像・脇立善日童子像・吉祥天女像	〃
〃	建造物	毘沙門堂内厨子	〃
〃	工芸品	銅鐘	立野（梅岳寺）
〃	無形民俗	義民おどり	尾谷
〃	〃	神楽舞	遠谷
〃	〃	的祭り	中ノ原
〃	天然記念物	椿	瀬野
〃	〃	白檜	野呂
99.12	絵画	雲谷派天井絵	山田（実相寺）
〃	〃	西国三十三観音霊場絵馬	〃
〃	〃	花卉図襖絵	発昌寺・福昌院蔵
01.8	〃	絵馬（千手観音・不動明王・毘沙門天図）	相原 神崎道信所蔵



・県指定
毘沙門天立像（玉泉寺所蔵）（昭和41年6月10日）

毘沙門堂に安置されている厨子入毘沙門天（多聞天）立像は、高さ1メートル67、雄こんな木彫で鎌倉初期の作といわれる。脇立の吉祥天女、善日童子ともに1メートル余りの木造で、何れも作者は不明である。



・銅鐘（梅岳寺所蔵）
慶安四年、毛利藩の有名な鋳物師郡司信久の作。藩主毛利秀就に殉死した梨羽就言の夫人がその供養のため寄進したもの。



・的まつり
毎年四月二十九日、中ノ原の神明社において豊作と悪疫退散を祈る神事が行なわれる。昔、惣ノ瀬の奥の扇滝に住んでいた怪物が里人を困らせるので、神明社に願いをかけて引矢で退治したという伝承による。

・高島北海画（花卉図襖絵）（発昌寺蔵）

昭和四年、発昌寺において襖絵十六面（柿に秋草図四画・夏草花図四画・菊竹図四画・松梅図四画）からなり、いずれも北海が山岳画とともに得意とした樹木草花の図柄で構成されている。



「柿に秋草図」

観光地

長門峡・阿武川ダム
扇落滝・なるみの滝
梅岳寺の庭園



・梅岳寺の庭園



・雲谷派天井絵（実相寺蔵）

萩藩のお抱え絵師集団であった雲谷派の幕末期における5人の絵師による天井絵80面である。



雲谷等玉（とうがらし）



雲谷等球（まんりょう）



・絵馬（千手観音・不動明王・毘沙門天図）

川上村教育関係施設

〈阿武川歴史民俗資料館〉

阿武川民俗資料館は、阿武川ダム竣工と同じ年の昭和50年3月に完成した。ダム建設により、川上村高瀬・木津原・藤蔵、そして福栄村佐々連・仮館・清宗地区206戸が止むを得ず水没することとなった。当地区には、民具の保有量が極めて豊富で、住民は高いレベルの文化をもって生活していたことが分かった。先祖が生きるために創意工夫をこらして生み出した優れた民具や風俗を大切に保存し、後世の人々の向上に資することを目的として当資料館が建設されたのである。

名 称	阿武川歴史民俗資料館
建設竣工	昭和50年3月19日
所 在 地	阿武郡川上村字小市ヶ谷
建築面積	601.50㎡



事業費	資料館	38,665,000円	復元民家	8,267,000円	石仏公園	1,465,000円
-----	-----	-------------	------	------------	------	------------

展示物	1階展示場	生活用品展示・農業関係・林業関係・漁業関係
	2階展示場	民族行事民具展示場・養蚕具展示室・衣類展示室

開館時間 午前9時より午後4時30分まで 入館料

休館日 毎週の月曜日(但し祭日を除く)

「国民の祝日」の翌日

12月1日より3月31日までの間

区 分	入 館 料	
	個 人	団体(1人当)
大人(大学高校生を含む)	100円	80円
小人(小中学生)	50円	40円

※団体扱いは20人以上で引率責任者のある場合とする

〈給食センター〉

昭和52年10月より運営を始めている。開設当初は、野戸呂小・中学校も対象となっていたが昭和53年4月学校の統廃合により、現在の川上小・中学校の2校のみとなって現在に至っている。

職員組織は、所長(教育委員会事務局長が兼務)と学校栄養士・調理員3名による構成となっている。運営については「学校給食運営委員会」が年1回開かれ、検討が加えられながら進められている。

学校の給食日数は、年平均180日で、一週間のうち木曜日がパン食で他の日は米飯給食となっている。食材は、県学校給食会のものを利用しているが、米は郷土産米を利用し、野菜などできるだけ村内産のものを調達するよう努めている。

安全面には細心の注意を払いながら、リクエスト給食やバイキング給食など魅力ある給食づくりに心がけるなど、子どもたちの学校生活を支える大きな力となっている。

竣 工	昭和52年9月25日	建築面積	160㎡	建設費	24,960千円
主な施設	調理室・事務室・控室・車庫ほか				

〈村民体育館〉

本体育館は、村民のスポーツの振興と健康の保持増進及び地域住民の連帯を図ることを目的に、昭和58年3月に建設されたものである。併せて、隣接している小学校の体育の授業にも利用されている。

村民スポーツ大会やニュースポーツの教室など村民のスポーツ行事に多く使われているが、中学校のバレーボール部の練習会場としても使われている。

夜間は、一般に開放され、連日生涯スポーツ(ソフトテニス・バウンドテニス・バドミントン・インディアカ・ソフトバレー・家庭婦人バレー・スポ少の剣道等々)を楽しむ人たちが賑わっている。夜間の利用者、月平均700名、年間延べおよそ9,000名もの人が利用しており、村民の心身健康やコミュニケーション等の面に大きく貢献していると言ってよからう。

本館のフロアは、30m×36mの広さを持ち、バレーボールなら2面、インディアカ・バドミントンコートは6面、バスケットボール1面、また、テニスコート1面がそれぞれの目的に応じて利用できるようになっている。

本館のほかに、クラブハウス、身近な運動広場が付属しており、いろいろな運動やスポーツなどに利用されている。

〈川上村学校水泳プール〉

本プールは、公認の村営プールとして昭和49年に竣工した。主として、村内の小・中学校の体育(水泳)の授業や隣接する川上保育園の保育活動に利用されている。2年に一度2村(旭村・川上村)の小学校の水泳記録会が当プールで開催されている。

夏季休業中は、村内の児童・生徒に解放されるほか、帰省中の村民にも多く利用されている。

村 民 体 育 館



川上村学校水泳プール



〈川上村公民館〉

公民館の目的は、村の住民のために、実際生活に即した教育・文化に関する各種の事業を行うことにより、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することである。

近年は、情報化・高令化・国際化をはじめ、生活環境は著しくかつ急速に変化しています。また学習に対するニーズも多様化してきていることに伴い、川上村では、下記のとおり、社会教育や個人・団体・サークルなどによる様々な生涯学習活動が行われている。

さらに、本年4月より完全学校週5日制の実施に伴い、公民館活動団体などの協力により、子どもたちを対象にした教室も開かれている

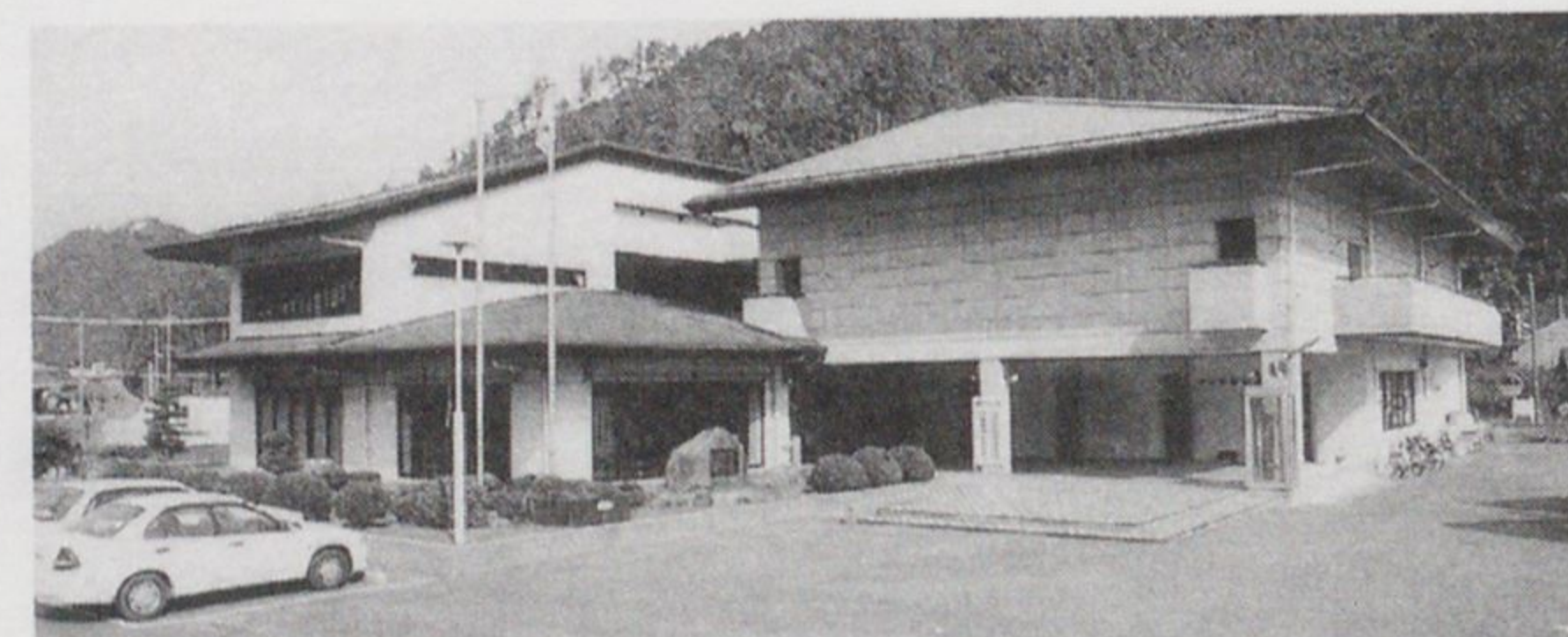
平成13年度 川上村公民館利用状況

教育委員会関係	村執行機関等	社会教育・公民館活動団体	その他	計
37件 1,143人	34件 5,147人	165件 1,551人	123件 1,398人	359件 9,239人

公民館活動団体（サークル）の活動状況

サークル名	活 動 日 時	サークル名	活 動 日 時
華道教室	毎月第1火曜日 9:00～12:00	あかね会(草木染)	毎月第3木曜日 9:30～13:00
茶道教室	毎月第3火曜日 9:00～16:00	手話の会	毎月第1・3土曜日 19:30～21:00
料理教室	毎月第3火曜日 9:00～13:00	古文書に親しむ会	毎月第2土曜日 19:30～21:30
詩吟の会	毎週月曜日 20:00～22:00	日舞教室	毎月4回 13:30～16:00
若鮎会(読書会)	毎月第1又は第2月曜日 9:30～12:00		19:30～22:00
囲碁研究会	毎月第1・3土曜日 19:00～22:00	阿武川太鼓(飛翔)	毎週火曜日 19:00～21:00
大正琴の会	毎月第1・3火曜日 19:00～21:00		

川上村公民館



竣 工	昭和54年8月10日
建物延べ床面積	1,397.98㎡
総 工 費	227,000千円

川上村公民館立野分館



竣 工	平成6年1月20日
建物延べ床面積	162.344㎡
総 工 費	35,197千円

〈明神島運動広場〉

元県営日本一の規模を誇る阿武川ダム湖畔に位置する本運動場は、平成3年3月に竣工し、主にソフトボールの試合や練習に利用されている。広さは、ソフトボール場が2面用意でき、利用無料ということもあって、近隣市町村からの利用も多い。

また、小高い山腹には、遊歩道が整備され、桜も植えられている。そしてササユリの自生地としても注目されてきている。

Y370
N5



川
上
村
の
書
庫
に
在
る
書
籍

Y3
M
